



Title	月刊DRF 第24号
Author(s)	デジタルリポジトリ連合
Issue Date	2011-12-28
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/73509">http://hdl.handle.net/2115/73509</a>
Type	periodical
Note	事務局: 北海道大学附属図書館; <a href="http://drf.lib.hokudai.ac.jp/">http://drf.lib.hokudai.ac.jp/</a> で公開したもの
File Information	DRFmonthly_24.pdf



[Instructions for use](#)



# 月刊 DRF

Digital Repository Federation Monthly

第24号  
No. 24 January, 2012

【特集1】2012年の抱負  
【特集2】2011年十大ニュースとキーワード  
<トピック> 技術WS報告 / 平成23年度DRF講師派遣事業報告



今年度のDRFの運営委員・各WG・サブWG・アドバイザーのみなさんに、DRFについて、もしくは自IRについての抱負を募集し、5・7・5でひねって頂いたものを、DRF川柳審査委員会（任意組織）により選評しました。

特集  
1

## 2012年の抱負

新春川柳句会



まず進め 結果はあとからついてくる  
上田大輔 (広島大学)

いちかばちか見ず知らずの先生に「論文ください」メールを送った時のことを思い出します(潮呑)・結構どうにかならしたし、これからもなりそうなのがする(有人)・はじめの一步を踏み出せば！(すみれ)・「ホップ」ぐらい意気込みまなくとも、一歩ぐらいなら踏み出せそう(天)・やはり心意気が一番大事ですよ(麦子)

冬空の 凧見習えや リポジトリ  
岡川雅彦 (筑波大学)

風が強いほど高く上がるもの(潮呑)・寒風を浴びて高く、そして、雲の上はいつも青空(結丸)

今年こそ先生全員覚えるぞ！  
鈴木稚子 (旭川医科大学)

「覚える」「覚えられる」の関係が理想ですね。(屁来吉)

ばっちこい！  
100でも200でも 登録してやる！  
近藤喜和 (奈良先端科学技術大学院大学)

元氣な朝の気分が伝わります。1日100本、1年36500本(潮呑)・「ばっちこい」の語源を辿ると怪しくなってきましたが、とにかくコンテンツ！(屁来吉)

やることはよりどりみどり(りりりと  
森名みどり (大阪大学)

「リ」と「の」のリフレインがリズムカルでいいですね。リポジトリを想起させます。さりげなく投稿者の名前も入れて。遊び心に充ちた秀句。(屁来吉)

よろこびも 世界とともに hita-hita  
土出郁子 (大阪大学)

世界中が一致団結して進む！というダイナミズム(天)

ハーナッド？ 知らんわそんなの俺の道  
編集長賞  
野中雄司 (室蘭工業大学)

道なき道でも、自分がそれを切り拓いていけることは幸せ(潮呑)・潔さの美学。その後ろをきくと誰かが歩くでしょう(結丸)・実はみんなそうかも知れませんか！(天)

127へ中堅研修定員増／杉田茂樹(小樽商科大学)  
今年から開始した中堅担当者研修。熱い内容でした。DRF参加127館から全員が受講してほしいですね(すみれ)

少しだけでも少しづつ 積み重ねね／片山俊浩(東北大学)  
少しづつが健康のためにもいいのです。いつか積まれて山になる机の書類のことし？(結丸)

ライブラリ好き好き大好きリポジトリ(宇余り) リポジトリ好き好き大好きコンテンツ(同じく)／内島秀樹(金沢大学)  
二つセットで声に出して読みたい名句(笑)(有人)

Repository depends on the contents／甲斐重武(広島大学)  
選びたくもあり 選びたくもなし(地豆)

Disseminated thoughts Recursively bloom of DRF From very roots  
山本和雄(北海道大学)  
DRFの花はどんな色？日本語訳も提出ください(すみれ)

学内の あっちゃんこっちゃん ながるぞ／尾崎文代(広島大学)  
「あっ、つながった」と感じる瞬間が醍醐味ですよ(有人)

めがじやなるにのみこまれるかりばじどり／栗山正光(常盤大学)  
今後注目ですね。SpringerからもSpringerPlus誌がスタートだそうです。(もとゆのみ)

キリいいし そろそろやるか インタビュー／阿部潤也(東京歯科大学)  
他大学さんのインタビューを羨ましく思っていて、キリ番が近付いて来た時、正にこんな感じで立ち上がりました(壇)

つながって絆を作るりばじどり／大澤類里佐(筑波大学)  
私自身、素晴らしい絆を方々で築かせていただきました。ありがとう(りりり)！(壇)

だんだんとあつまっていく ぶえていく／谷奈穂(千葉大学)  
笑顔もふえていきます(麦子)

識別子人と論えつなげます／守本瞬(金沢大学)  
ヒトも論文も識別子をめぐる動きに注目(麦子)

リポジトリ 共に立てよう 辰年に／大園岳雄(香川大学)  
太く長く！ テーマはやっぱりうどん？(地豆)

ロビこまでもラフな感じで「ファンキー」に／加藤晃一(浜松医科大学)  
「ロビ」というバンドを結成してテーマソングを作ってほしい。ケニアではラップ調のソングを作ってたっけ(屁来吉)

ゆるキャラをうちのSURLにも 招き入れ／川井奏美(金沢大学)  
キャラクターを生かす例が多いのは図書館界が一番かもしれない(壇)

ピーアール広めて充実コンテンツ／中山千佳子(岡山大学)  
広報大事。待っていてはコンテンツは集まらない(雪太郎)

忘れない ハンドルシステム更新日／永井一樹(兵庫教育大学)  
永続ライセンスがほしいですね。一方、識別子としては今年度はURLにも注目です！(もとゆのみ)

真似したい 事例はいっぱい やるだけだ／西園由依(鹿児島大学)  
ただ盗んで真似しても、怒られることはありません。どんどんやってみよう！(天)

学術の平和を守るリポジトリ／空権母  
パイルダーオン(古い)してみんなで守ろう！(結丸)  
和をひろげ 知ることすべて実りあり／深川昌彦(山口大学)  
実りを分け合ってまた和が広がる(もとゆのみ)



今年、オープンアクセス・機関リポジトリの世界でみなさんが印象に残った出来事・印象に残ったキーワード(言葉)をDRFメーリングリストでよびかけ、投票して頂きました。その結果をここに発表し、2011年を振り返ってみたいと思います。ご協力くださったみなさん、ありがとうございました。

## 十大ニュース編

(有効票159, ★は得票数です)

### 1 JUSTICE (大学図書館コンソーシアム連合) 発足 (4月)

★★(29)

月刊DRF5月号特集、中堅研修講義、DRF8講演とお世話になりました。さらなる快進撃を期待。別の道を進んでいても見る未来は同じはず。DRFも負けずどんどんいきましょう！

### 2 DRF研修体系リニューアル。機関リポジトリ新任担当者研修・中堅担当者研修を開始 (9月)

★★(22)

NII主催学術ポータル担当者研修(平成18~22年度)を後継し、DRF主催の研修事業をスタートしました。全国から112名の参加を頂きました。来年度もどうぞ期待！

### 3 新任担当者研修大盛況、応募殺到で急遽第3回開催 (9-11月)

★★(21)

東京会場が即日完売のため、追加開催(東京会場)を企画しました。急なプログラム立案にもかかわらず講師に立ってくださった参加機関担当者のみなさんに拍手！

### 4 NIIが共用リポジトリ募集開始、各地で説明会 (11月)

★★(20)

国内200の機関リポジトリ。共用リポジトリのサービスインでこれからまだまだ伸びるのか！？

### 5 世界リポジトリランキング2011年1月版でKURENAIが3位、HUSCAPが5位に (1月)

★★★★★★★★★(9) あとに続け！トップ10を日本のIRで独占しましょう。

### 6 JST、国内初のDOI登録機関JaLC (ジャパンリンクセンター) の立ち上げを発表 (7月)

★★★★★★★★★(9) IRコンテンツへのDOI付与の可能性が開けますね。今後出てくる技術要件情報に注目。

### 7 ReaD & Researchmap誕生 (11月)

★★★★★★★★★(8)

ReaDとResearchmapが統合したことで、各大学の研究者総覧や研究業績システムも変化する？学内組織との連携を考えるリポジトリ担当者は要注目です！

### 8 中堅担当者研修の初開催、大成功 (10月)

★★★★★★★★★(7)

「事前課題に青ざめ」「無理だ！」「万事休す」「答えが出るものではない」(受講者アンケートより)

### 8 OAメガジャーナルの急成長と拡大 (通年)

★★★★★★★★★(7)

PLoS ONEがSPARC Innovatorに選出され、年間刊行論文が10,000を突破。クローン誌も続々。

### 第5回SPARC Japanセミナー「オープンアクセスメガジャーナルの興隆」

2012年2月29日(水)開催決定 PLoS ONE出版代表Peter Binfield来日！

News!

十大ニュースにもランクインした"メガジャーナル"をテーマとしてOA出版の現在と将来を考えます。

司会：近藤喜和 (DRF, 奈良先端科学技術大学院大学) 話題提供：西園由依 (DRF, 鹿児島大学)

パネリスト参加：大澤類里佐 (DRF, 筑波大学) 企画協力：DRF

<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2011/20120229.html>

### 10 講師派遣事業 (既に7人派遣済) (9月)

★★★★★★★★★(6)

あちらこちらからあちらこちらへお邪魔しました。今号のトピックをどうぞ！

### 10 各地で地域共同リポジトリ構築への動きが進捗 (愛媛IYOKAN, 鹿児島KARNほか) (通年)

★★★★★★★★★(6)

IR構築の環境変化の中にあっても、地域コミュニティはやはり強し！ずっと仲良くやっていきましょう。

その他、信州大学SOARが国立大学図書館協会賞を受賞(6月) KEK、NII、国公立大学図書館協力委員会がSCOAP<sup>3</sup> に関心表明提出(9月) ハーナッド転覆計画の翻訳(9月) 今年もOAWに各地でイベント開催(10月) 月刊DRFにICOLC Meeting報告掲載(10月) Springerがオープンアクセスマネージャーを設置(5月?) など、いろいろあった一年でしたね。また、東日本大震災被災者・被災地のための雑誌記事等の(臨時的な) オープンアクセスの動き、私立大のリポジトリ増加、CiNii Articles全文検索開始が印象に残ったという声もありました。

来年もたくさんよいニュースを作り出していきましょう！





(有効票142, ★は得票数です)

## JUSTICE (大学図書館コンソーシアム連合)

★(25)

2つが  
同票数!

大賞

1位に選出され光栄です。

なぜ選ばれたのか?あらためてその理由を考えてみますと、JUSTICE、すなわちコンソーシアムによる集団ライセンスのコミュニティとDRF、すなわち機関リポジトリのコミュニティの活動は、大変近い関係にある活動だと思えます。どちらも、既存の出版システムの枠内で学術情報流通の改善を図るために、図書館が主体的に関わることのできる活動だからです。これからも2つのコミュニティの連携により、相乗効果が生まれることを期待しています。(JUSTICE 尾城室長より)

## NII共用リポジトリ、WEKO

★(25)

NIIでは、平成24年度より、ソフトウェアWEKOをベースに構築した機関リポジトリのシステム環境をご提供します。当面无償で、新規構築機関を対象とさせていただきます。ぜひ、ご活用ください。(ここだけの話ですが、先日、サービス名称が決まりました。ずばり、「JAIRO Cloud」です。) (NII 塩崎さんより)

その他のキーワード

「講師は皆、【出がらし】なので、次はみなさんがアイデアをひねり出す番！」とのあいさつではじまったDRF中堅担当者研修。受講者からの事前課題受信確認メールは、どれも【文末に(涙)】の文字が記されていました。今後の学術情報流通形態の可能性のひとつとして【フリップモデル】(購読料誌とOA誌が反転)が示されるなど、新鮮で多様な話題を【お絵かきボード】で話し合いました。

DRF8では、【Gold】、オープンアクセス、とくに【オープンアクセスメジャーナル】が大きく取り上げられ、そのビジネス基盤である【APC】(Article Processing Charge. 論文出版加工料)などについて【Yes/Noカード】を使って会場全体でディスカッションを行いました。

DRF8は大会場。スタッフが一目でわかるよう、オレンジ色の【バンダナ】を身につけました。



## 「DRF技術ワークショップ軽井沢2011」開催

技術サポートワーキングでは、平成23年12月7日(水)から12月9日(金)に「DRF技術ワークショップ軽井沢2011」を開催しました。ワークショップでは、RePEcやDOAJ等の学術データベースとのデータ連携をメインテーマとし、IRシステムからOAI-PMHに対応しない外部システムへのデータ提供のための仕組みを開発しました。

特に今回は各機関導入済のリポジトリシステムのカスタマイズを必要としないことを第一に考え、Junii2形式のメタデータを、デスクトップPCで手軽に処理できるものや、サーバ上で処理できるもの等の汎用的なメタデータ変換ツールが完成しました。

これにより、今回作成したRePEc、DOAJ以外の新しい提供機関についてもメタデータ形式がわかればその都度応用が可能となり、多くの学術データベースで機関リポジトリのコンテンツを検索できるようになります。

開発例：

- ・メタデータ変換用卓上ハータスタとXSLTスタイルシート例
- ・メタデータ変換ツール (php, Perl)

なお、このほかワークショップのすべての成果は、1月末に次のURLにて公開予定です。

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRFtech-Karuizawa2011>

### 参加メンバー

- ◇ 三隅 健一(北海道大学)
- ◇ 野中 雄司(室蘭工業大学)
- ◇ 高久 雅生(物質・材料研究機構)
- ◇ 坂井 華奈子  
(日本貿易振興機構 アジア経済研究所)
- ◇ 大園 隼彦(岡山大学)
- ◇ 森保 信吾(広島工業大学)
- ◇ 深川 昌彦(山口大学)



← WS中の様子



→ WS  
終わって  
集合

DRFでは、各種ワークショップ・イベントへの講師派遣を実施しました。今回は、2011年11月までに開催された4つのイベントについて、応募機関の担当者からの声を交えて報告いたします。また、これから開催が予定されているイベントについてもお知らせいたします。(http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?Dispatchもご覧ください。)

オープンアクセス講演会 @NAIST

平成23年10月31日

奈良先端科学技術大学院大学

講師講演:

参加人数: 78人

- ▶「研究影響力の最大化のための二つの方策」杉田 茂樹(小樽商科大学 学術情報課長)
- ▶「オープンアクセス: 研究者の立場から」轟 眞市(物質・材料研究機構 先端フォトニクス材料ユニット主幹研究員)

担当者の声:

●応募してよかったこと: まだまだ本学の力だけでは本学研究者にお伝えできずにいたが、研究者にこそ知ってほしい、学術情報流通の危機やOAのこと。これを講師の方々から代わりにお伝えいただけたこと。



●イベントを開催しての感想: まずは、本学の研究者に、学術情報流通の危機やOAのことを、知っていただけたことにホッとしました。また、アンケートで、本学の研究者が講演を聞いてご自身が思ったことや感じたことを、素直に・真面目に答えてくださっていて、本当に嬉しかったです。



学術機関リポジトリの充実のための著作権学習会

平成23年11月9日

山梨県立大学

講師講演:

参加人数: 33人

- ▶「機関リポジトリと著作権. 概論」菅原 光(一橋大学 学術・図書館学術システム課図書館システム担当)

担当者の声:

●応募してよかったこと: 開催する研修会の趣旨と合った講師を紹介していただけた。講師選定、派遣依頼等にかかる事務の負担が軽くなった。

●イベントを開催しての感想: 実情に即した研修会を開催することができ、参加した先生方からも役に立ったと好評だった。



鹿児島県学術共同リポジトリ講演会

平成23年11月29日

鹿児島大学

講師講演:

参加人数: 32人

- ▶「続広島の「知」を世界へ! ~HARP参加館からの報告~」渡辺 さゆり(日本赤十字広島看護大学図書館参事)
- ▶「福井県地域共同リポジトリ(CRFukui)について」久保 智靖(福井大学学務部学術情報課企画管理係長)

担当者の声:

●応募してよかったこと: 大学中心の広島県大学共同リポジトリと地域学術機関を含めた福井県地域共同リポジトリという特色ある2つの共同リポジトリから講師を派遣していただいたので、今後の鹿児島県学術共同リポジトリを検討していく上でとても参考になりました。



●イベントを開催しての感想: 2人の講師の方からは、持続的な共同リポジトリ運営のための豊富な事例に基づいたお話があり、講演後も活発な質疑応答が行われました。講演を通じて鹿児島県大学図書館協議会関係者や県内図書館関係者には共同リポジトリへの理解を深めていただき、鹿児島県学術共同リポジトリ参加機関は共同リポジトリの立ち上げへ向けて決意を新たにす充実した講演会となりました。

平成23年度広島県大学共同リポジトリ (HARP) 勉強会

平成23年11月25日

広島経済大学

講師講演:

参加人数: 27人

- ▶「効果的なコンテンツ収集の取組」若生 政江(城西大学 水田記念図書館 事務長)

担当者の声:

●応募してよかったこと: 埼玉県にはかつて、共同リポジトリ立ち上げ時に広島から講師を派遣したことがあり、今回はそのつながりを改めて広げることもできました。他機関から来ていただくことは、ヒントを得ること以外に人のつながりを作ることもであると実感しました。



●イベントを開催しての感想: DRF派遣とは別にJUSTICEからも来ていただき、IRを取り巻く情勢から身近なヒントまで盛りだくさんの勉強会になりました。

... 12月以降開催のイベント ...

- ◆機関リポジトリ研修会@国際武道大学(平成23年12月21日)
- ◆神戸市外国語大学リポジトリワークショップ(平成24年1月20日)
- ◆愛媛大学図書館学術講演会(平成24年1月23日)

編集後記

みなさま、今年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願いいたします。

次号予告

- 【特集1】 DRF meets RSP
- 【特集2】 共用、共同リポジトリ最新事情